

事業所における自己評価結果(公表) 【放課後等デイサービス】

公表:令和3年 1月18日

事業所名:ハート愛

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・一つの部屋をクールダウンや個別対応, 更衣等多目的に使っている。	・もう少し, 児童がのびのびできる部屋が必要かと思う。個別対応用2部屋くらい。 ・新築移転時に解決予定。
	2 職員の配置数は適切であるか		○		・配置基準等は満たしているが, より充実したサービス提供のためのシフトの工夫を行っている。	・児童の特性や人数, 活動内容によって足りない日がある。(4)・手厚く配置されている。 ・人的配置の適正化に努める。
	3 事業所の設備等について, バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・トイレ等の不足については, 大人の事業所の臨時的利用で混乱を避けている。	・児童によっては水道が高い場合がある。洗面所, トイレ等不足。 ・新築移転時に解決予定。
業務改善	4 業務改善を進めるための, PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に, 広く職員が参画しているか	○			・日常的活動については事業所職員全員で, 避難訓練, 研修等の行事等については管理者も含めてPDCAを確実に実施する。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し, 業務改善につなげているか	○			・ガイドライン評価を軸に, 「保護者の集い」, 日々の話らい等の機会の中で御意見をいただき, 対応するようにしています。	・環境などについては, すぐに対応できないこともある。 ・ハード面は新築移転時に解決予定。
	6 この自己評価の結果を, 事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・平成28年度から, ホームページに掲載するとともに, 紙媒体で保護者にもお配りしている。	
	7 第三者による外部評価を行い, 評価結果を業務改善につなげているか	○			法人の第三者委員に御意見をいただくとともに, 公開療育等の機会にアンケート等で御意見をいただいている。	
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために, 研修の機会を確保しているか	○			・外部研修の機会は, 必要と思われる職員に必ず出てもらうようにするとともに, 法人・事業所内研修も外部講師招聘で若しくは自分たちで充実し, そして何よりOJTを大切にしている。	
	9 アセスメントを適切に行い, 子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で, 放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・支援計画等作成時は, まずは目の前の本人, そして相談支援, 家庭, 学校, 専門機関(医療福祉センター等)等からの情報を総合的に収集する。また, 市販のS-M社会生活能力検査等標準化された検査等も毎年取り直し, 客観性を保てるようにしている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために, 標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			市販のS-M社会生活能力検査を購入, 初回(新入生等)は保護者の協力をいただき実施し, 2年目以降は担当職員を中心に, 全職員で共通理解を図りながら評価している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月の活動計画は, 担当を中心に業務の合間で共通理解, 情報収集等を行い, ガイドラインで示された「基本活動」を踏まえ事業所独自の八つの分野「創作」「音楽」「レク」「ゲーム」「表現と鑑賞」「感覚/運動」「生活」「その他」で活動を展開している。	・チーム一丸となり安心して取り組める。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同上の基本方針で, 具体的には季節等を考慮したり, 郷土行事を取り入れたりなど学校で体験できないようなことも取り入れるようにしている。	・様々な活動を拝見し, 学ぶことの多い毎日である。
	13 平日, 休日, 長期休暇に応じて, 課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			立地的に当事業所は平日に外出して行う活動は難しい。また調理的活動を含むイベント等も平日は持ちにくい。長期休業や土日等を活用して実施している。	
	14 子どもの状況に応じて, 個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			平日1本, 土曜日・長期休業等2本の集団活動以外の時間は基本的に個別対応で発達目標に迫るようにしている。	
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし, その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・活動担当が主となって活動前に職員間で打ち合わせを行っている。様々な用具等の準備も, それぞれの職員の得手・不得手等を考慮して全員で取りかかっている。	
	16 支援終了後には, 職員間で必ず打合せをし, その日行われた支援の振り返りを行い, 気付いた点等を共有しているか	○			・当日時間がとれない場合は, 翌日に行っている。(2)・送迎等の関係で, 全員でそろって振り返ることは困難でも, いる職員だけでも話し合う機会と空気は設けている。	・できている日もあるが, 遅い日もあるので, 当日全員できるわけではない。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し, 支援の検証・改善につなげているか	○			保護者向け, 職員向けで記録をとることに合わせて, 児童の発達の節目と思われる行動等については, 別に記録を積み上げるようにし, 職員で共通理解を図るようにしている。		
18 定期的にモニタリングを行い, 放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリング会議を実施し, 児童発達支援管理責任者, 担当者等を中心にモニタリング会議を実施している。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			項目10, 項目11の回答のとおり, 題材を複数, 有機的に組み合わせる, なおかつ月の柱となる行事では単元化して実施している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者、担当者が中心となり参加するようにしている。また、電話連絡等による情報収集の補足も行っていきます。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			年間計画、行事予定、下校時刻予定及びその日の変更等連絡を密に取るようにしている。夏期休業中の担任による事業所研修も積極的に受け入れるようにして児童に係る情報共有に努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在所謂「医療的ケア」に該当する児童はいない。ただし、軽微な持病若しくは一時的な病気の薬の与薬等については、家庭との綿密な連携の基を行っている。	現在、該当者無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			鹿児島市教委から提供を受けた「夢すこやかファイル」等の支援ツールを介して情報共有を図るようにしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者を通じて若しくは許可が取得できれば障害福祉サービス等へ直接情報をお伝えするようにしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			元子ども総合療育センター、現発達支援センターの専門家を招聘して、保護者・職員合同研修を行ったり、公開療育への職員の受け入れを行ったりして、助言等を受け入れるようにしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			昨年度、当法人の理事長と関わりのある児童クラブとの交流を数回の事前打ち合わせを経て実施した。	・今年ではできず。コロナが収まったら、また行いたいと思う。交流、イベントへの招待など。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			・相談支援専門員が参加されているので、連携し情報共有を行っている。今後は、当事業所職員の出席も視野に入れたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・児童を送迎する際、保護者から家での状況を聞く等共通理解を得ている。また、必要に応じて当事業所主催の「保護者の集い」で情報共有・共通理解を図るようにしている。さらに、やまびこ医療福祉センターの専門家(OT、ST等)からの助言も参考にさせていただきようにしている。	・一部の保護者からは、保護者が主体となる「保護者会(父母の会)」発足の要望もある。今後検討したい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・「保護者・職員合同研修会」の中で数回にわたって専門家を招聘し、ペアレントトレーニングを実施している。	・今年度はコロナで難しい。今年度も「保護者・職員合同研修会」は実施したが、「ペアレントトレーニング」と銘打って実施することはなかった。次年度検討。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用前の見学及び体験時等に必要な諸事項について児童発達支援管理責任者が中心となり丁寧に説明するようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・連絡帳、送迎時、電話のやりとりを行い、その場で返事が難しい場合は、みんなで話し合い返事する等しています。	・保護者が安心して話ができる雰囲気がある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	1		・「保護者の集い」と称して、事業所主催で年1回実施している。会終了後に、自然発生的に保護者たちが自主的に互いの悩み等を語り合う時間ができている。	・研修は行っているが、保護者同士の連携は不十分かもしれない。項目28同様、「保護者会」発足も検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・保護者からの何気ない話題にも、事業所への要望等が含まれているものと、なるべくアンテナを高くして応ずるようになっている。要望の内容により管理者若しくは必要に応じて運営会議等で話題にするようにしている。	・苦情はなかった。 ・LINEなどを活用して素早く対応している。ただし保護者にとっては、「答えてもらえていない」と感じさせる事例もあったようで、今後はより細やかに、素早い対応を心掛けたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎日の活動案でそれぞれの児童の様子を書き込んだものを届ける。週報で活動予定やその週の特記すべき児童の様子を伝える。月報で月活動計画を届ける等紙媒体でも細やかに伝えるようにしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・毎年度はじめに必ず「個人情報・写真掲載承諾書」を記入・提出いただくようにしている。(「人権擁護ハンドブック」等活用)	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・子どもとの関係で職員自身が「相互障害状況」にならぬようTEACCHやINREALなど職員のコミュニケーションに係るスキルアップの機会を充実させるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか		○		・今年度は持てなかったが、法人の「秋祭り」で地域住民等を招待している。	当事業所独自の地域住民との関わり方を今後検討する必要がある。

	チェック項目	はい どちらとも いえなし	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・「児童捜索マニュアル」「感染症対応マニュアル」「捜索個人カード」等、法人のものをベースに当事業所用に作製し、年次更新して保護者に配付している。	・保護者には配付だけでは周知できていないため、「保護者の集い」等により具体的に説明する必要がある。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・法人の避難訓練に参加するとともに、事業所独自で計画し、「地震・火災避難訓練」、「送迎バス避難訓練」を独自の支援ツール等を活用して実施している。	・子どもたちが真剣に取り組む姿が見られた。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・法人の「人権擁護研修」に出席するとともに、県の協会等外部での研修を受けた職員による伝達研修及び職員の障害観、人間観を醸成するための研修を繰り返し行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・基本的には身体拘束を常時必要とする児童はいない。ただ、障害特性により混乱や興奮が時折見られる児童については、誤学習を防ぐために、日頃（冷静時）から職員と「交渉」しながら行動を起こせるようにしている。ただし、混乱が起きたときは隣室等、環境調整により収まるのを待つ。	・現在必要なお子さんはいらっしゃらない。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・年度初めの「家庭調査票」とともに「栄養アセスメント」をとっている。情報は栄養士に渡すようにしている。	・現在、該当者無し。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・事案発生時に、法人作成の書式に記入し、「今後の対応」を含めて事業所内で共通理解した上で法人全体で共有ホルダーで共通理解する。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。